

心の栄養剤N078「サンタクロース」

1897年9月、米国ニューヨークに住む少女バージニアが新聞社に手紙を書いた。

「私は8歳です。お友達の中にサンタクロースはいないという人がいます。本当の事を教えて下さい」

という内容でした。新聞社ニューヨーク・サン紙は「サンタクロースはいるか」という社説を掲げた。

「バージニア、あなたのお友達は間違っています」と語りかけた。

「このごろ何でも疑ってかかる人が多い。目に見えるものしか信じようとせず自分の頭で考えて理解できないものは存在しないと思ってしまう」

「サンタクロースはいます。それはこの世の中に愛や人への思いやり、真心があるのと同じように確かなことです。サンタクロースがいなかったら、素直に信じる心も、詩も、ロマンスもなく、人生はちっとも楽しくありません」

「クリスマスイブの日に、パパに頼んで煙突を見張ってもらったとします。サンタクロースが煙突から降りてくる姿を見なかったとしても、それがどんな証拠になるでしょう。この世で一番確かで本当のものは、大人の目にも子供の目にも見えないのです」

「目に見えない世界を覆い隠している幕は、どんなに力の強い人にも、いいえ世界中の力持ちが寄ってたかっても引き裂くことはできません。

ただ、信じる心、想像力、詩、愛、ロマンスだけが、そのカーテンを引きのけて幕の向こうの例えようもなく美しく、輝かしいものを見せてくれるのです。」

「サンタクロースはずっと、いつまでもいるのです。バージニア。何千年たっても、何万年たっても、きっとサンタクロースは、子供たちの心を喜ばせ続けるでしょう」

と社説は結ばれていた。



たしかに「目に見えないものほど大切」という真の意味が年を取る毎にわかって来たような気がします！！

「愛情～友情～夢～思いやり～祈り～願い～想い～」などなど・・・

以上の事をふまえて、今年最後の月に多くの人に最高のプレゼントを上げようと考えてみました！私が思うプレゼントは二つ！

まずは、今月を「誉め誉め月間」として出来るだけ多くの人に「誉め言葉」を掛けてあげましょう！！

「誉める」という字は「光の言葉」と書くように、人を輝かせる事ができますもちろん、その輝きは反射して自分自身も間違いなく輝けると思います。

二つ目は、ちょっと大変かもしれないけど、愛する人を「喜ばせる」というテーマを持って過ごしてみましよう！

動物にはなくて、人間だけが持っている本能というのがあるそうです。

「食欲」それは動物もあります。「性欲」それは動物もあります。

「睡眠欲」それは動物もあります。

「喜ばれるとうれしい」これが人間だけが持つ本能いや本能以上の性質と言えます。

何も商品・品物じゃなく例えば「いつもありがとう」という言葉を添えて肩を揉んであげるとか！！（無償の気持ちで）

家事を手伝うとか！！（あえて年末じゃなくて早めに）

などなど・・・そんな今月を過ごせたら思わず有形無形の素晴らしいクリスマスプレゼントをゲット出来るかも・・・（笑）

あっ！思わず見返りを考えてしまった！いかにいかに猛省！！（笑）

